

人文科学コース3年生による「人文科学課題研究Ⅱ」英語発表会が開催されました！

●2学年時に行った研究の成果を英語で発表しました

5月28日(火)、31H(人文科学コース11期生)の生徒による「人文科学課題研究Ⅱ」英語発表会が行われました。

発表会は近隣の高校のALTである、Samantha Darnin先生(大聖寺高校)、Frederick Lawrence先生(加賀高校)、Monay Threats-McNeil先生(小松商業高校)、Yuki Belluscio先生(小松明峰高校)、Jacob Ashford先生、Lily Wooters先生(野々市明倫高校)及び本校所属の、Kataizah Johnson先生を審査員に迎えました。

31Hの生徒たちは2学年次に行った研究を、ALTの先生方に向けてわかりやすく説明する活動を通して、英語によるコミュニケーション能力を高めることができました。また、人文科学コース12期生となる21Hの生徒も発表会を参観し、先輩の発表する姿を目の当たりにして、自分たちの研究に刺激を得るよい機会になりました。

以下に発表会の様子、各班のタイトル一覧を紹介します

●「人文科学課題研究Ⅱ」英語発表会の様子



●R6 Jゼミ(人文科学コース31H生徒)「人文科学課題研究Ⅱ」英語発表会テーマ一覧

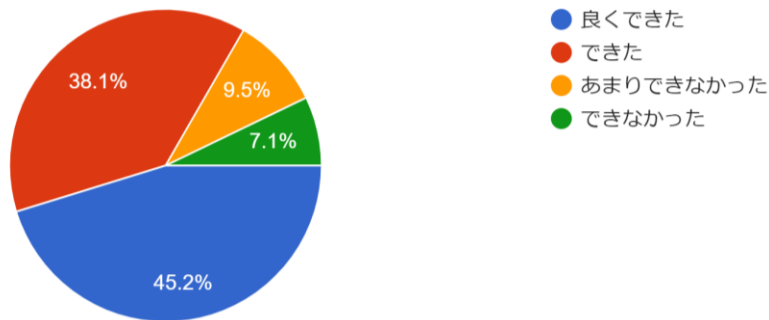
A	In Kaga Area, will Hakusan Faith Become Obsolete?	F	Difinition of Donation from the Perspective of Furusato Nozei
B	Whether social media is socially equivalent to Christianity	G	Will Changing the Intern Training System Improve the Working Environment for Foreign Workers in Japan?
C	How Gender is portrayed in "Bam and Kero"	H	Do Interpersonal Relationships Affect Subjective Happiness on the Internet?
D	Does Laughter Decrease Internal Stress?	I	Is Hate Speech in America Caused by "Free Speech Supremacy?"
E	The Suggestion of Inbound Travel in Ishikawa	J	How to Promote LGBTQ Understanding in Ishikawa Pref.

●「人文科学課題研究Ⅱ」英語発表会振り返りアンケート

発表会の後、31H生徒たちに英語発表会（発表会までの準備、当日の発表等）における自己評価アンケートをとりました。以下にアンケート結果と生徒の感想を一部抜粋して掲載します。

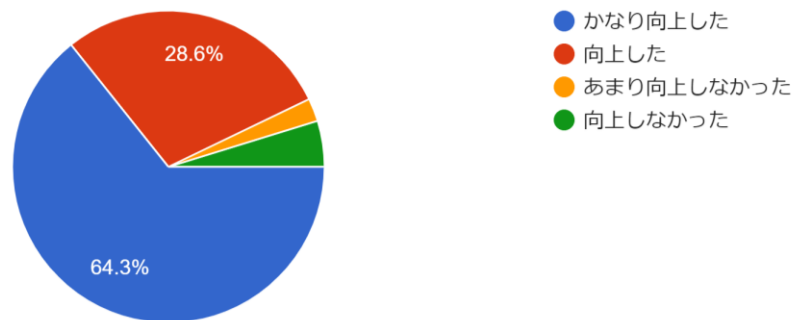
4.英語で質問したり、説明したりすることができたか。

42件の回答



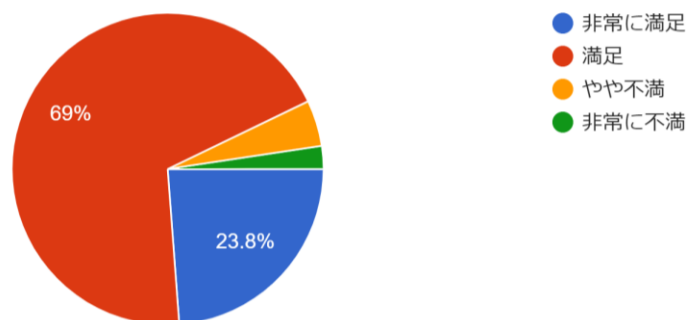
5.この活動を通して、英語でのプレゼンテーション能力が向上したか。

42件の回答



6.発表全体の満足度

42件の回答



●発表会をふりかえって（生徒の感想）

- ・クラスの人たちがみんな発表練習を頑張ってすばらしい発表をできていた。
- ・もっと前を見て発表できたらもっと完璧だった。
- ・他の人が話している英語がわかると嬉しかった。英語の暗記も日本語の意味を考えながら行くと覚えやすいとわかった。
- ・日本人やALTにしか伝わらない日本語読みの英語ではなく、英語がネイティブの方にも伝わるような発音のよさを目指したい。
- ・英語の授業で出てこないような文章を自分たちで英訳するのはとても難しかったです。でも班員の人たちと協力しながら習ったことを活用して文が作れ、新しい単語も学ぶことができました。